

1月給食だより

平成 28 年 1 月

高岡市立牧野小学校



あけましておめでとうございます。本年もたよりを通して、さまざまな食に関する情報をお伝えしていきたいと思います。

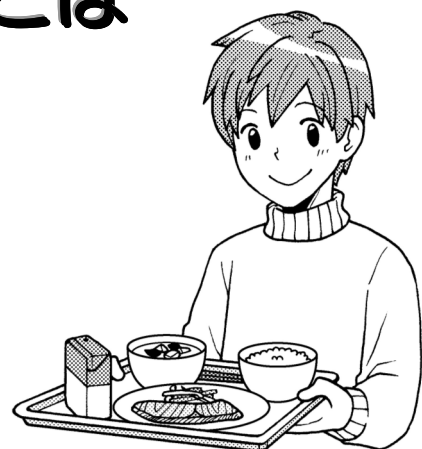
毎年1月24日から30日までは全国学校給食週間です。この機会に、学校給食の意義や役割について改めて考えてみましょう。



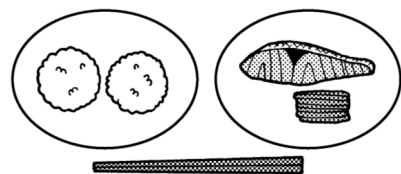
全国学校給食週間とは

学校給食は栄養バランスのとれた食事によって、子供たちの心身の成長を支え、「生きた教材」として、生涯にわたって健康で充実した生活を送るための自己管理能力を育てるなどの役割があります。

全国学校給食週間は、このような学校給食の意義や役割等について理解を深め、より一層の充実を図ることを目的として定められました。



学校給食の始まり



明治22年に山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)の私立忠愛小学校で、貧しい子供たちを対象に無償で提供された昼食が、日本で最初の学校給食だといわれています。当時の献立はおにぎり、塩さけ、菜の漬物等が出されていたといわれています。

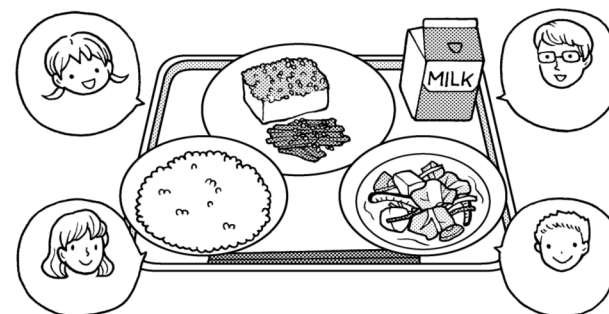


現在の学校給食



現在の学校給食は、成長期の子供たちの健康増進に役立つ栄養バランスのとれた食事で、地場産物も多く取り入れています。また、食に関する正しい知識や食習慣を身に付けられるほか、郷土料理や行事食等を取り入れ、食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高めています。

給食の思い出を家族で話題にしてみませんか？



家族で食事をする時に給食の思い出を話題にしてみましょう。好きな(好きだった)給食の献立や印象に残っているできごと等を、ぜひお話ししてあげてください。

全国学校給食週間に合わせ、特別献立を実施します。

テーマ **「和食」のよさを伝えよう！**
～次世代へ伝えてきたい 日本の食文化～

25日(月) 家族や地域とのかかわり

素材の味わいを生かす調理法や色彩



26日(火) 和食「一汁三菜」健康を考えた栄養バランス

27日(水) 和食の食材を洋風にアレンジ

28日(木) 年中行事とのかかわり

29日(金) お米と新鮮多様な地場産食材



「和食」は、H25年に世界文化遺産に登録されました！

